

ともちゃん地蔵ってなかに

ともちゃん地蔵の由来

ともちゃん地蔵は、1945年敗戦直後に中国東北部（旧満洲）で、寒さや飢えなどによって亡くなった日本人の子どもたちの霊を慰めるため、「戦争の悲劇を伝えたい」との想いを込めて制作されたお地蔵様です。岩槻には、中国残留婦人^{じおんじ}の故村上米子^{げんじょうとう}さんが2001年2月に慈恩寺地区の玄奘塔に建立しました。



日時：2025年 **11/15（土）** 14:00-16:00（開場 13:30～）

会場：岩槻区役所内 多目的室 さいたま市岩槻区本町 3-2-5（ワッツ東館 3階）

申込：定員 30名 予約者優先、先着順 **参加費 無料**

◎ 朗読 絵本「ともちゃんのおへそ」

◎ お話 「岩槻の『ともちゃん地蔵』について」

新井 治（ともちゃんの会）

◎ 中国残留邦人等の体験と労苦を伝える「戦後世代の語り部」講話

友末 可織 「家族を求めて ～輿石大仁郎さんの人生」

「戦後世代の語り部」とは中国残留日本人から直接体験を聞き取り、本人に代わって伝える次世代の伝承者です。1945年、東京大空襲で焼け出された輿石一家は敗戦間近の満州に渡る。混乱を極める敗戦前後の中国で家族を失った少年は孤児となり中国人に引き取られる。その後も政治的な混乱の続く中国を生き抜き、1985年に家族とともに日本に永住帰国。帰国後も日本社会で生きることは容易ではなかった。

東武アーバンパークライン(東武野田線)岩槻駅 徒歩 1分



◇申し込み・お問い合わせ◇

いわつき ともちゃんの会

Tel: 090-6514-5687 おうせい 王清

メール: tomochan20010205-my@yahoo.co.jp

協力: 首都圏中国帰国者支援・交流センター